



BUZEN

市議会 だより



昨年12月4日に開催された豊前天地山ジョギング大会の様子、今年は12月3日の開催予定です。



カラス天狗祭りが10月28日～29日天地山公園で開催され、約54,000人の来場客で賑わいました。

各地でイベント開催



合河ゆず祭りが11月19日合河南部グランドで開催され、ゆずたたき売りなどで活気付けました。

CONTENTS

- 9月定例会2
- 主な議案内容3
- 一般質問5

次の定例
市議会は
12月

2006
No.54

議会へのご意見をお寄せ下さい・議会だより編集委員会

豊前市大字吉木955 TEL.82-1111内線1311 <http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

発行:豊前市議会 編集:編集委員会 印刷:築上印刷(有)

9月定例会

議案審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果	
議案第53号	豊前市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致	可決
議案第54号	豊前市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第55号	豊前市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第56号	豊前市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第57号	豊前市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	賛成多数	可決
議案第58号	豊前市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致	継続
議案第59号	豊前市道路線の認定 廃止及び変更について	産業建設	全会一致	可決
議案第60号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	総務	全会一致	可決
議案第61号	福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について	文教厚生	全会一致	可決
議案第62号	福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について	文教厚生	全会一致	可決
議案第63号	平成18年度豊前市一般会計補正予算(第1号)	全委員会	全会一致	可決
議案第64号	平成18年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	全会一致	可決
議案第65号	平成18年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	総務	賛成多数	可決
議案第66号	平成18年度豊前市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	賛成多数	可決
議案第67号	平成17年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	賛成多数	認定
議案第68号	平成17年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	賛成多数	認定
議案第69号	平成17年度豊前市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	賛成多数	認定
議案第70号	平成17年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	賛成多数	認定
議案第71号	平成17年度豊前市農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第72号	平成17年度豊前市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第73号	平成17年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第74号	平成17年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第75号	平成17年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第76号	平成17年度豊前市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	賛成多数	認定
議案第77号	平成17年度豊前市東部地区工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
意見書案第1号	次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(案)の提出について(継続分)	文教厚生	全会一致	可決
意見書案第7号	違法伐採への対応強化を求める意見書(案)の提出について	産業建設	全会一致	可決
意見書案第8号	公共交通機関の存続へ向け、JR九州に係る経営支援策等に関する意見書(案)の提出について	総務	全会一致	可決
請願第1号	教育基本法の理念を生かす意見書の提出を求める請願(継続分)	文教厚生	賛成少数	不採択

主な議案内容

平成18年第4回定例会は9月5日から9月22日までの18日間の会期で開催されました。

この定例会では、条例案件6件、予算案件4件、その他4件、決算11件意見書2件計27件が提出されました。

各議案については、所管の常任委員会に付託され、慎重に審査されました。結果については別紙の通りです。今定例会の議案等の内容は次の通りです。



条例

豊前市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律改正により、通勤の範囲が改定されました。

豊前市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

3歳未満児の本人負担額のうち、初診料及び往診料が平成19年1月1日より公費負担となります。

豊前市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

豊前市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
右の2件は、医療費制度の改正に伴い、変更するものです。

豊前市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

出産育児一時金が平成18年10月1日より増額されました。

豊前市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

経営の健全化及び周辺自治体との均衡を図るため、平均9%前後の料金値上げをする改正案であります。

その他

豊前市道路線の認定、廃止及び変更について

ほ場整備等に伴い、新たに認定16件、廃止2件、変更13件を行い、道路台帳を整備するものです。

福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について

瀬高町、山川町、高田町が合併し、新たな「みやま市」となる事によるものです。

福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について
上陽町が八女市に編入された事によるものです。

福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少

及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について

瀬高町、山川町、高田町が合併し、新たな「みやま市」となる事によるものです。

補正予算

平成18年度豊前市一般会計補正予算(第1号)

205,250千円を補正するもので主なものは、庁舎アスベスト除去事業26,000千円、障害者自立支援事業20,871千円、赤熊59号線道路改良事業20,000千円、農林水産施設災害復旧費40,520千円、土木施設災害復旧費25,000千円であります。

平成18年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

保険制度の健全化のため、新たに保険財政共同安定化事業拠出金144,516千円を補正するものです。

平成18年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)

主なものは、貸付金を回収する法的措置をとるための費用、42

8千円を補正するものです。

平成18年度豊前市水道事業会計補正予算(第1号)

18,952千円を補正するもので主なものは、第8期拡張費です。

決算

平成17年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について

9月13日から14日にかけて、決算特別委員会にて審査承認されました。詳細については次の頁に記載しています。

平成17年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市公共用地先取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市水道事業会計歳入歳出決算の認定について

平成17年度豊前市東部地区工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について

右の10件は、賛成多数で承認されました。詳細については下記に記載しています。

意見書

次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(案)の提出について(継続分)

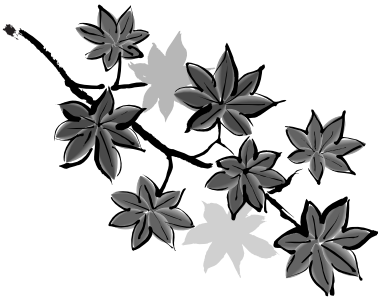
違法伐採への対応強化を求める意見書(案)の提出について

公共交通機関の存続へ向け、JR九州に係る経営支援策等に関する意見書(案)の提出について
右の3件について全会一致で可決され、国、関係機関等に対して意見書を提出いたしました。

請願

教育基本法の理念を生かす意見書の提出を求める請願(継続分)
賛成少数により不採択になりました。

議案の詳しい内容についてお知りになりたい方は、議会事務局までお申し出ください。



平成17年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算状況

(単位:万円)

収益的収入	895万円
収益的支出	879万円
差引	16万円

平成17年度豊前市水道事業会計決算状況

(単位:万円)

収益的収入	5億3826万円
収益的支出	4億9943万円
差引	3883万円
資本的収入	8220万円
資本的支出	1億7499万円
差引	9279万円

上記は平成17年度の単年度収支であるが、平成17年度末累積赤字は4億1091万円となる。水道会計の健全化に向けた、抜本的な改善策が望まれる。

平成17年度 一般会計・特別会計(8件)の決算状況 (単位:千円)

区分	一般会計	特 別 会 計								合計
		国民健康保険事業	老人保健	住宅新築資金等貸付事業	農業集落排水施設事業	公共下水道事業	公共用地先取得事業	市営駐車場事業	市バス事業	
歳入決算額(A)	11,021,520	3,543,469	4,550,180	19,838	33,407	794,230	0	10,501	30,779	20,003,924
歳出決算額(B)	10,950,684	3,161,800	4,629,735	33,955	33,407	779,260	0	8,098	30,779	19,627,718
形式収支(A-B)(C)	70,836	381,669	79,555	14,117	0	14,970	0	2,403	0	376,206
翌年度へ繰り越すべき財源(D)	27,284	0	0	0	0	0	0	0	0	27,284
実質収支(C-D)(E)	43,552	381,669	79,555	14,117	0	14,970	0	2,403	0	348,922
前年度実質収支(F)	29,095	385,733	22,295	9,254	0	18,231	0	2,203	0	403,713
単年度収支(E-F)(G)	14,457	4,064	57,260	4,863	0	3,261	0	200	0	54,791
積立金積立額及市債線上償還額(H)	636	0	0	0	0	0	0	0	0	636
積立金取り崩し(I)	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
実質単年度収支(G+H-I)	84,907	4,064	57,260	4,863	0	3,261	0	200	0	154,155

一 般 質 問

9月議会では6名の議員が市政について一般質問しました。
質問の要旨については次のとおりです。

9月11日(月)		9月12日(火)	
発言者氏名	質 問 要 旨	発言者氏名	質 問 要 旨
古川哲也	1.中心街における市街地の整備改善及び活性化の一体的推進に関する事について 2.公務員の倫理について 3.補助金、負担金、交付金などの考え方について 4.前回の関連について	尾家啓介	1.公共工事について 2.市町村合併について
尾澤満治	1.防災について 2.教育問題について		
宮田精一	1.大増税と社会保障の改悪から住民の暮らしを守るために 2.教育行政について 3.談合防止の為に入札制度の改善を	村田喜代子	1.戦没者追悼式の行事について 2.高校跡地の利用について 3.国保に関連して 4.市町村合併について
吉永宗彦	1.開かれた市政のための、制度の改善充実のすすめ 2.障害者自立支援法について		

古川哲也 議員

1.中心街における市街地の整備改善及び活性化の一体的推進に関する事について

議員 消費者が郊外へと流出して、古くから賑わっていた商店街が疲弊している厳しい状況の中、「まちの顔」ともいっべき中心市街地の活性化が大きな課題である。

このことに関連して、大店立地法など「まちづくり3法」の見直しを検討されている。改正点の概要をお聞きしたい。

商工観光課長 政府は「コンパクトで賑わいあふれる街づくり」を推進している。

関連3法はいずれも、地域の多様性と主体性を生かすことを目的に、国から地方自治体へ、権限が委譲されていることが特徴である。

まちづくり3法とは？

ゾーニング(土地利用規制)を促進するための「改正都市計画法」、生活環境への配慮など社会的規制の側面から大規模小売店の新たな調整の仕組みを定めた「大規模小売店舗立地法」、空洞化する中心市街地の再活性化を支援する「中心市街地活性化法」の3法のこと。

中心市街地活性化協議会を設置し、議論するなかで、関係者の創意と工夫で、各種の事業展開が期待できる。

都市計画課長 従来の一律支援から、やる気のある自治体に支援が向けられることも大きな改正点である。今後は民間事業者の参入、地域の潜在能力の発掘等を行い、身の丈にあった事業展開を模索する必要があると考える。

議員 北高校跡地を中心市街地に編入し、この法律を利用して活性化を図るべきではないか。

商工観光課長 3つの要件を満たせば、中心市街地として認定されることになるので、そのな

かで検討したい。

議員 TMO事業を行っているが、市民の認知度は低い。今後の対策をお聞きしたい。

商工観光課長 今日まで商工会議所が中心となり、商店街活性化のため、20種類以上の事業を実施してきた。今後も空き店舗対策など協議していきたい。

2.公務員の倫理について

議員 公務員の不祥事がたびたび報道されているが、本市における対策を伺いたい。

総務課長 所属長会議、職員研修会を通じ、意識の徹底を図っている。不祥事を起こした職員



には厳正な処分を行う。

議員 岐阜県庁の17億円の裏金
が問題となっているが、本市に
はそのような裏金はないのか。

総務課長 断じてない。

3. 補助金、負担金、交付金など
の考え方について

議員 行革により補助金の減額
を検討と聞くが、必要、不必要
を再考し、メリハリのついた施
策をすべきでないか。

財務課長 総額10%の削減を目
標としているが、補助金の公平
性、公益性、必要性、金額の妥
当性等精査し判断したい。

議員 財源は市民の大事な税金
である。このことを頭にしっか
り入れ、検討して欲しい。

4. 前回の関連について

議員 市町村合併問題について、
6月議会以降の状況について伺
いたい。

市長 過去4回、吉富町と勉強
会をもった。9月には県の担当
者から説明も受けた。今後、議
員同士の勉強会も実施すると聞
いている。皆さんと協議しなが
ら合併実現に向け努力したい。

尾澤清治議員

1. 防災について

議員 飲酒運転及び交通事故撲
滅に対する考え方をお聞きした
い。

総務課長 市の職員に対し機会
あるごとに公務員としてのモラ
ルの確認と綱紀粛正を徹底して
いる。今後、市民や関係機関と
共に飲酒運転の撲滅運動を進め
て行きたい。

管内の交通事故の原因は、67
%がわき見運転である。公共施
設の不備から起こる交通事故等
を検証し、事業課に情報提供を
し、交通事故を減らす取り組み
を推進したい。

議員 歩道の防護柵の危険箇所
の再点検及び事故防止の考えは
ないのかお聞きしたい。

建設課長 市道、通学路の安全
を図るため、歩道設置や区画線
で区分し歩行者の安全を守って
いる。カーブミラー、防護柵、
区画線、反射板等は必要な箇所
の整備し安全確保に努めて行き
たい。

議員 防災士の育成計画につい
てお聞きしたい。

総務課長 防災士の資格取得は、
防災の専門知識が必要で、長期

間の講習と費用が掛かる。その
他に救急救命講習の習得も義務
付けられている。防災士の育成
については、今後の検討課題と
したい。

市長 福岡県では、リーダー育
成事業を年1回実施しているの
で、今後市民に参加を要請し防
災の向上に努めたい。

議員 AED「自動体外式除細
動器」の取り組みについてお聞
きしたい。

市長 現在AEDは、市内公共
施設に28台設置している。多く

の市民が講習に参加し、多くの
命を守るために協力して頂きた
い。

議員 災害時の障害者、高齢者
の防災マニュアルが出来ている
のかお伺いしたい。

福祉事務所長 当市では、その
関係の防災マニュアルは出来て
いない。

議員 早急に障害者用の防災マ
ニュアルを作成して欲しい。



市役所ロビー設置のAED

2. 教育問題について

議員 児童体験学習の実施につ
いてお聞きしたい。

教育長 地域の自然環境、動植
物に興味を持たせるために、地
域の人の協力を得ながら計画的
に実施したい。

議員 青少年犯罪についてお聞
きしたい

教育長「子どもたちを犯罪から
守る、犯罪をおかさない」を合
言葉に対策に取り組んできたが、
これといった特効薬はない。今
後も地域の協力を得ながら、更
なる対策を講じたい。

社会教育課長 青少年犯罪の中
で、一番多い犯罪は、万引きと
窃盗である。青少年の健全育成
から見て、インリーダー研修、
ジュニアリーダー研修、色々な
教室及び子ども会活動を育成し
て行きたい。今後、青少年育成
市民会議や各関係機関と連携を
図りながら地域全体で子どもの
育成に取り組みたい。

宮田精一 議員

1. 大増税と社会保障の改悪から住民のくらしを守るために

議員 今回の税制改正により、これまで非課税だった人が課税になるなどの、重税になったと聞いている。

豊前市では、世帯、人数、金額でどれくらいの影響がでているのか、また、納付通知書発送後の、問合せ・苦情は何件くらいあったのか。

税務課長 昨年度の納税義務者数は、11,437名に対し、今年度、12,385名で、約950名の増加となっているが、影響額は、把握することが困難である。

苦情等は、件数は把握していないが昨年度の倍はあったように感じる。

議員 やはりかなり影響が出ていると思うが、庶民には厳しく大企業や富裕層はそのままという状況は、今後も注視したい。

議員 確定申告のときに、障害者控除や寡婦控除についての説明が、不十分ではないか。
税務課長 相談は受けていると思う。

議員 要介護認定者が障害者控除を受けられるような制度のお知らせを、通知してあげたらどうか。

助役 今後、検討させていたいただきたい。

議員 障害者自立支援法が10月1日から全面实施されるが、事業の準備状況はどうなっているか。

福祉事務所長 必須でない事業についても、取り組みを予定しているものがある。

議員 全国の300近くの府県、市町村で独自の負担軽減策を行っているので、豊前市でも実施できないか。

市長 なかなか難しいが、検討していきたい。



2. 教育行政について

議員 就学援助の受給状況について、世帯数及び人数はどのくらいあるのか、また、適用基準は生活保護基準の何倍に設定しているのか。

学校教育課長 本年度の支給状況は9月現在、小中学校合せて、113世帯、166人。

適用基準は、現在、児童扶養手当の所得基準を目安にしており、1・5倍近い金額になる。

議員 申請と支給の方法は、どのようになっているか。

学校教育課長 申請は、学校と学校教育課の両方で随時申請を受け付けている。支給は、校長に委任し、必要なときに必要な金額を生徒に援助するようになっている。

議員 生徒が屈辱を感じないように配慮していただきたい。

議員 就学援助の制度を、広報に掲載していただいたことは評価しているが、読まない人もいると思うので、生徒が帰って帰るプリントにしていきたい。

学校教育課長 現在は、新入時に説明をしているが、その点について協議したい。

議員 全国統一テストは、個人

情報保護の観点から問題があると思うが、教育委員会として参加することを決定したのか。
学校教育課長 教育委員会で協議し決定している。



3. 談合防止の為に入札制度の改善を

議員 上町団地建替工事の議案は、公募型指名競争入札が行われ、談合の疑いがなかったため、賛成し全会一致で可決された。今回の成功を活かすため、すべての入札を公募型指名競争入札か一般競争入札に切り替えてはどうか。

財務課長 公募型指名競争入札は、初めての試みであり、引き続き試験的に試行し、結果等を検証しながら拡大について検討したい。

吉永宗彦 議員

1. 開かれた市政のための制度の改善充実のすすめ

議員 開かれた市政確立のためには、情報公開、個人情報保護、そして市政に携わる者の倫理性を高めることが必要と考える。

「情報公開条例」「政治倫理条例」が制定されてから既に10年が経過した。

8月に公表された福岡県下の評価ランキングではワースト2で、極めて不名誉なことである。早急に見直しをすべきと考えるが執行部の所見を頂きたい。

市長 情報公開条例と個人情報保護条例はセットであるが、より一層の透明性の確保、また電子自治体の構築に向けた情報の管理、保護をしっかりと行いたい。そのため今後、専門家や幅広く関係者の意見を聞きながら制度の充実を図りたい。

倫理条例については、特別職と議員の2本立てであるが、社会の要請を踏まえ見直しが必要と考える。議会にもご理解をお願いしたい。

議員 指定管理者など外部団体の対応についても先進事例等参考の上、検討いただきたい。ま

た、昨今職員の倫理が問題となつてはいるが、一層の確立のための具体策はあるのか。

総務課長 職員の倫理条例の制定についても避けて通れない課題であるので、併せて検討したい。

2. 障害者自立支援法について

議員 同法の制定により、障害者を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。その中の小規模作業所等の件についてお伺いしたい。

低い報酬単価や補助金の一律削減で、このままでは小さい施設は切り捨てられようとしている。現在策定を進めている「障害者福祉計画書」の中で、その存続は位置づけられているのか、また、障害者の自己負担分の軽減のための具体的な支援策を伺いたい。

福祉事務所長 本市には国の認可した作業所が一箇所、それ以外の作業所が3箇所ある。

法の改正により、施設側にも障害者本人にも大きな問題が生じている。県下所長会等を通じて国・県に要望している。3箇所の作業所については新法により、地域活動支援センターへ移行す

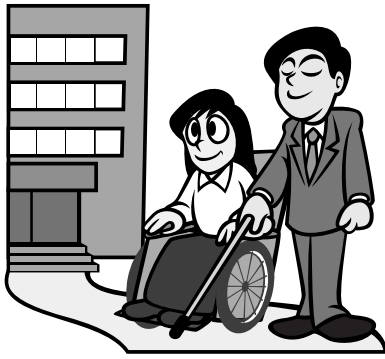
ることになると思うが、今年度は引き続き県からの補助金も存続する。

障害者福祉計画については、関係者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、数値目標を設定し今年度中に策定したい。

議員 障害者自立のため、小規模ながら、関係者が日夜を問わず努力し、築き上げた作業所である。

関係団体、現場の声を聞きながら頑張ってきた者が、納得のできる、障害者福祉施策を進めて頂きたい。

また、自己負担分の独自軽減策も講じながら、この「自立支援法」が「自立阻害法」とならないよう強く望みたい。



尾家啓介議員

1. 公共工事について

議員 公共工事に関連して数点伺いたい。

上町団地の建替工事が初めて公募型指名競争入札で行われた。今回の入札は透明性の確保と談合防止はできたのか。

助役 公正な競争原理のもと、一定の効果が得られたと考えている。

議員 この入札にあたり、「総合評価一般競争入札」でなく、「公募型指名競争入札」を採用したこと、又、応募企業の経審の点数を1300点以上とした理由を伺いたい。

助役 「総合評価一般競争入札」は県レベルで取り組みが始まったばかりであり、制度的に確立した「公募型指名競争入札」を採用した。点数については本工事の技術的要件、市への指名登録企業など総合的に判断した。

議員 落札率が95パーセントを超えると「談合あり」と言われており、本市の場合、数件を除くと殆んどこの範囲である。

今回の入札は予定価格の82パーセントで落札され、金額にすると一億二千万円が節約されたこ

とになる。今後の入札において一般競争入札を導入する絶好のチャンスだが、どのように考えるか伺いたい。

助役 一般競争入札は事務量の増加、不良・不的確業者の排除の困難等もあり、なお検討の余地があると考ええる。

平成18年度から、設計金額が一億五千万円以上の工事については公募型指名競争入札を試行したい。

市長 議員の指摘もよく分かるが、地元業者の育成も考えなければならぬ。今後十分検討したい。

議員 上町団地の建替えにあたり、将来にわたつての公営住宅の必要性の検討をしたのか、又、住宅困窮者の定義とはなにか伺いたい。

建設課長 子育て世帯や高齢者、障害者など住宅に困窮する者に良好な居住環境を提供することは一層必要であり、住宅のストック総合活用計画の策定を行いたい。法では低額所得者を住宅困窮者と位置づけている。

議員 今後の建設については民間活力の利用を図るべきである。なお、入居条件は所得制限でなく、住宅弱者の解釈をもっと広げるべきである。

総合評価一般競争入札とは

最低価格による自動落札によらず、価格、その他の条件が自治体にとって最も有利なものをもって申し込みをした者を落札者とする入札方法。
我々の日常の買い物でも、価格だけで判断しているわけではない。価格以外の総合評価により、その買い物(契約)の目的にふさわしい事業を行うことができる。

2. 市町村合併について

議員 吉富町との合併は両首長とも避けて通れないと認識していると思うし、議員も賛成者が多い。

吉富町は来春町長、議員の選挙がある。選挙戦に入ると合併が遠く恐れがあり、交付税算定の特例期間も短くなり、メリットが少なくなる。市長に所見を伺いたい。

市長 合併により管理部門の効率化が図られ、専門的高度なサービス提供が可能になり、人件費の削減が行える。

合併が遅くなれば、地方交付税の特例が短くなるが、お互い独立した自治体であり、難しい面がある。

《財政一口メモ》地方交付税の仕組みとは？

教育、福祉、消防、社会資本の整備など、私たちの生活に関係の深い行政サービスの大半は地方公共団体によって提供されています。

こうした行政サービスに必要な経費については、各地方公共団体が自ら徴収した地方税によって賄われるのが理想ですが、地域によっては大きな経済力の格差があり、地方税収入だけでは必要な行政サービスを提供できない地方公共団体が多いのが実態です。

地方交付税は、国民が国内のどの地域に居住していても、このような基本的な行政サービスを受けられるよう、財政力の弱い地方公共団体に対して、不足する財源を交付する仕組みです。地方公共団体の経費(基準財政需要額)と標準的な状態において徴収が見込まれる税収入額(基準財政収入額)を算定し、不足する額を国税である所得税、法人税、酒税などを一定の割合で交付するものです。政府はこの地方交付税の見直しを行っており、今後、地方に交付される金額は少なくなると思われま

議員 今後、地方交付税が削減される中、合併した場合の特例増加分約4億5千万円、並びに団塊の世代の退職を利用して財政の改革をすべきである。チャンスを逃すな。

市長 議員の指摘はよく理解できる。しかし、お互い合意なしで、無理に合併したところは、すべて失敗している。粘り強くやりたい。

村田喜代子議員

1. 戦没者追悼式の行事について

議員 すべての戦争犠牲者の方々に祈りを捧げ、不戦の誓いを新たにす、戦没者追悼式が毎年行われているが、戦後61年が経過し、ご遺族の方々も高齢化のため、出席者が少なくなつた。

悲惨な戦争を語り継ぎ、平和の大切さを伝えるためにも、子供達の参加を促すなど、従来方式を変える時期が来ていると思ふが。

福祉事務所長 今年約200人が参列し、豊前市出身の850柱を追悼した。今後は関係団

体と協議の上、広く市民一人ひとりが、平和の尊さを学び恒久平和を願う追悼式になるよう検討したい。

教育長 8月の登校日に平和学習を行っているが、小学生の参加については教育委員会の中で議論したい。

2. 高校跡地の利用について

議員 跡地利用についてどのように進んでいるのか、また、児童館、図書館、プールをその計画に入れられないのか、お伺いしたい。

市長 審議会から、築上中部高校跡地については、中学校再編

に伴う統合中学校用地として、築上北高校の跡地については市街地活性化計画に編入し、まちづくりゾーンとして利用するよう答申を頂いた。

図書館については、有効利用の観点から、建築年次の新しい校舎を整備したい。

プールについては、過去の経緯もあり、海岸線の市民プールを維持したい。

総務課長 児童館については、同和福祉センター内に、児童館を併設している。新たに建設するとすると補助金も少なく、多くの財源を必要とするが、今後の論議の中で検討したい。

3. 国保に関連して

議員 このことに関連して数点お伺いしたい。

高齢者が働くことに生きがいを持つことは健康にも繋がる。定年後の仕事の斡旋はできないか。

市長 シルバー人材センターへの入会、更には職業安定所を通しての求職も手段として考えられる。

商工観光課長 高齢者雇用安定法が改正され、高齢者の雇用について改善が図られつつある。

議員 生活習慣病など問題となっているが、すべての基本は「食育」と考える。この点についてどのような取り組みを行っているか伺いたい。

農林水産課長 関係課と、「食育推進基本計画」の策定について協議を行っている。

市民健康課長 市内に食生活改善推進員の方が58名おり、食生活の改善等の普及に取り組んでいる。

また、市民の健康管理、増大する医療費の抑制のため、各種健康教室等を実施し、市民の参加を呼びかけている。

4. 市町村合併について

議員 市長は吉富町との合併にどのような努力をしているのか。また、合併のカラー、企業誘致等をどのように考えているのか伺いたい。

市長 時期を失しないことも大事な事だけど、忍耐を持って泥をかぶる気持ちで努力したい。カラーについては、苅田から中津までのゾーンの中で「豊築は一つなり」の考えで地域振興に努めたい。企業誘致についても、吉富町と一体で考えたい。



豊前市戦没者追悼式の様子

上町団地前期建替工事(第一期工事)始まる。

8月25日「臨時議会」を開催し、工事請負契約の締結について全会一致で可決致しました。

この工事請負契約の締結については、公募型指名競争入札により、5億9千8百50万で、東洋建設(株)北九州営業所が落札したものであります。

公募型指名競争入札とは、工事概要、対象ランク及び技術資料の作成・提出方法等については事前に掲示し、入札参加意欲のある建設業者から提出された技術資料の審査を踏まえ、指名業者を選択する入札方式を言います。



上町団地完成予想図

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。12月の定例会の一般質問は12月14日(木)、15日(金)の予定です。

会議録閲覧のおしらせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたいかたは、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

12月の議会の日程表(予定)

8日(金)	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
9~13日	休会	議案審査日
14日(木)	一般質問	午前10時~
15日(金)	一般質問	午前10時~
18日(月)	常任委員会	
19日(火)	常任委員会	
20日(水)	常任委員会	
21日(木)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決
22日(金)	本会議	予備日

編集委員
委員長 村上喜代子
副委員長 田村精一
委員 古川哲也
委員 山崎廣治
委員 尾崎美

ストレス社会を乗り越える策を立ててみては、いかがでしょうか。(K・M)

「私も時には楽しみたい、思い切って出てきたけれど」と笑いされる素敵な笑顔を見ながら、時には自分にもいものを出してみる勇氣も楽しい人生の一編になるなと。

秋たけなわ、各地でイベントの盛んな時期、カラス天狗祭りに、ある婦人が市外からバザーで初めて参加したとの事、天地山のお客様のすこい数と楽しそうな笑顔に、どんなに楽しい一日を過ごしたのか、時間を忘れ、お客もかまわずに話をしてくれた。家では家業の忙しいのをほっぽりだし、アルバイトを雇い、出てみたそう。60代後半位かしら?

編集後記

